

平成30年度 学校生活アンケートの集計結果と考察

1. 平成30年度名古屋市立振甫中学校 学校努力点

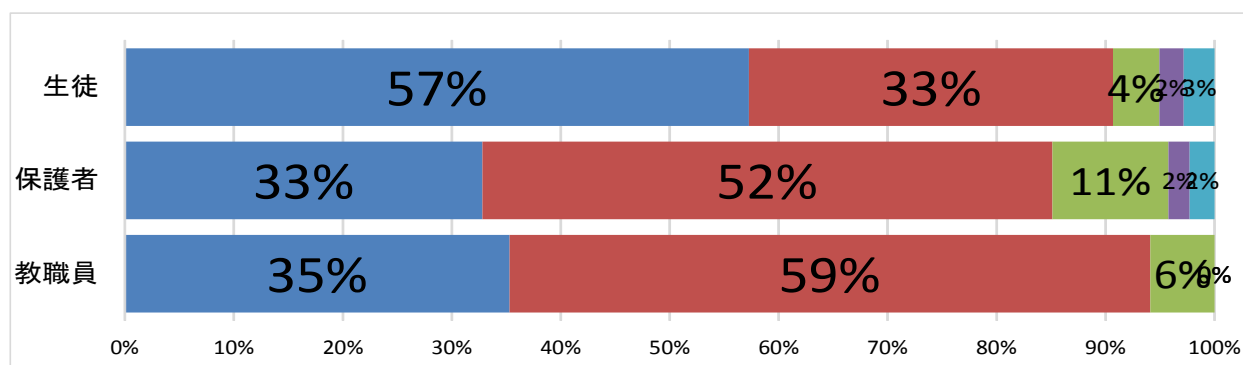
いき（生き・行き）がいを自ら見付けることのできる生徒の育成
～個を生かす集団、集団を生かす個の育成を通して～

2. 結果と考察

グラフ] 上段－生徒 中段－保護者 下段－教職員
■よくあてはまる ■あてはまる ■あてはまらない ■まったくあてはまらない ■わからない

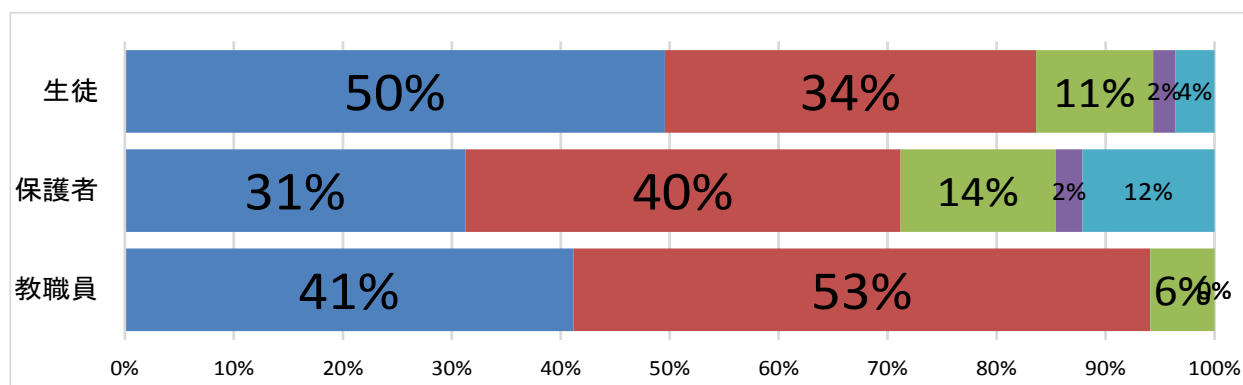
(1) 「いき（生き・行き）がい」について 質問①

生徒 「学校、学級が楽しい。」	保護者 「子どもは、学校や学級が楽しいと言っている。」	教職員 「生徒が充実した生活を送れるよう工夫している。」
--------------------	--------------------------------	---------------------------------



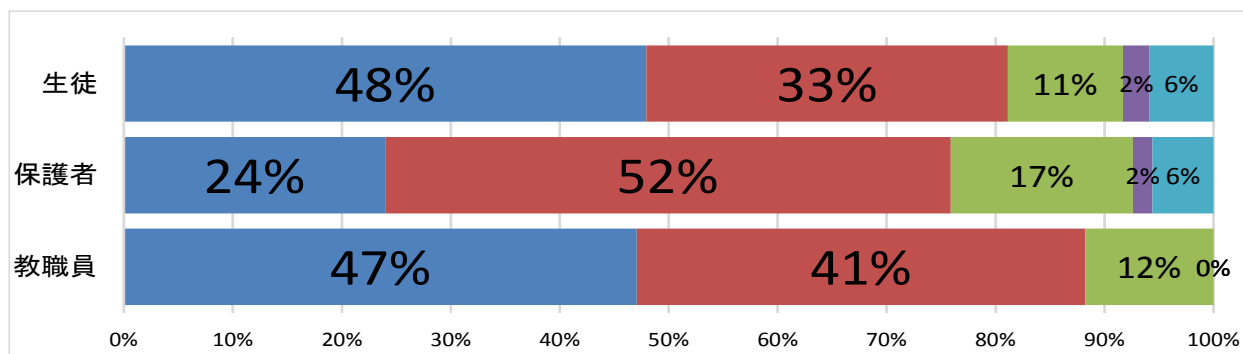
質問②

生徒 「学校生活の中で、一生懸命になれるものがある。」	保護者 「子どもは、学校生活の中で一生懸命になれるものがある。」	教職員 「生徒に、学校生活の中で一生懸命打ち込める場面を設定している。」
--------------------------------	-------------------------------------	---



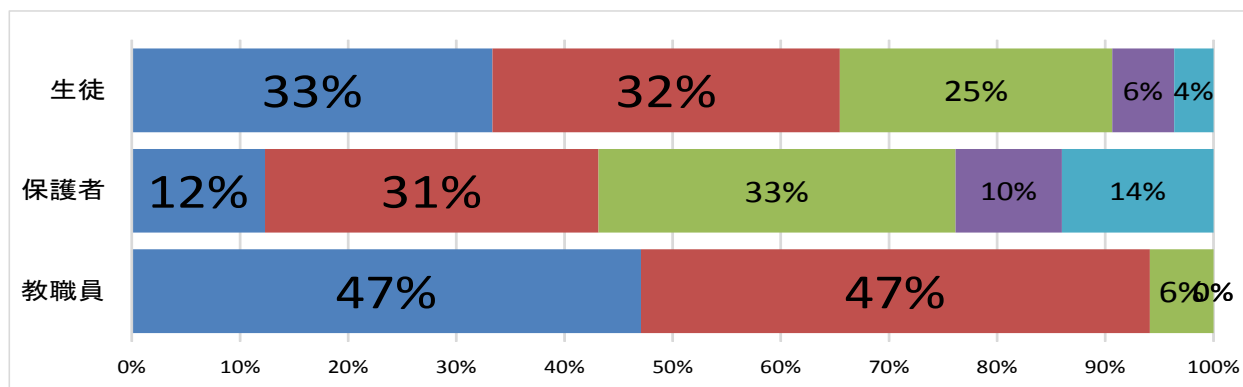
質問③

生徒 「学校生活の中で、自分の役割がある。」	保護者 「子どもは、学校生活の中で自分の役割を意識している。」	教職員 「生徒が、自分の役割を意識できるよう指導している。」
---------------------------	------------------------------------	-----------------------------------



質問④

生徒 「自分の将来について、具体的に考えている。」	保護者 「子どもは、自分の将来について具体的に考えている。」	教職員 「生徒が、自分の将来を具体的に考えられるよう指導している。」
------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------------



アンケート結果の考察

- 90 %の生徒は学校や学級での生活を楽しんでいる。【質問①より】
- 80 %を超える生徒が、学校生活の中で一生懸命になれるものをもっており、学校生活の中で自分の役割を意識しながら生活することができている。【質問②③より】
- 教職員の 94 %が、生徒が将来を考えられるように指導していると答えている中で、自分の将来について具体的に考えている生徒が 65 %に留まった。また、保護者アンケートでは、43 %となった。教職員と、生徒や保護者の意識に差があり、この差を埋める手立てを考えなければならない。【質問④より】

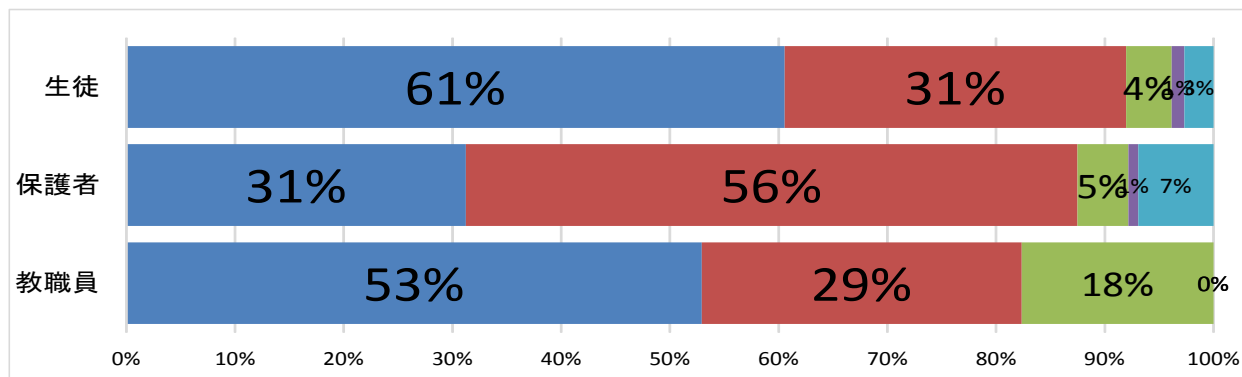
来年度以降の学校の取り組み

- * 将来に向けての取り組みを、1年生時から計画的に行っていく。また、進路に対する意識向上や進路学習を2年生時の早期から始める。また、家庭に対して、学習や進路に関する情報を積極的に発信することで、教職員と、生徒や保護者との意識の差を埋め、生徒たちが将来を意識しながら生活できるようにする。。

(2) 「集団の育成」について

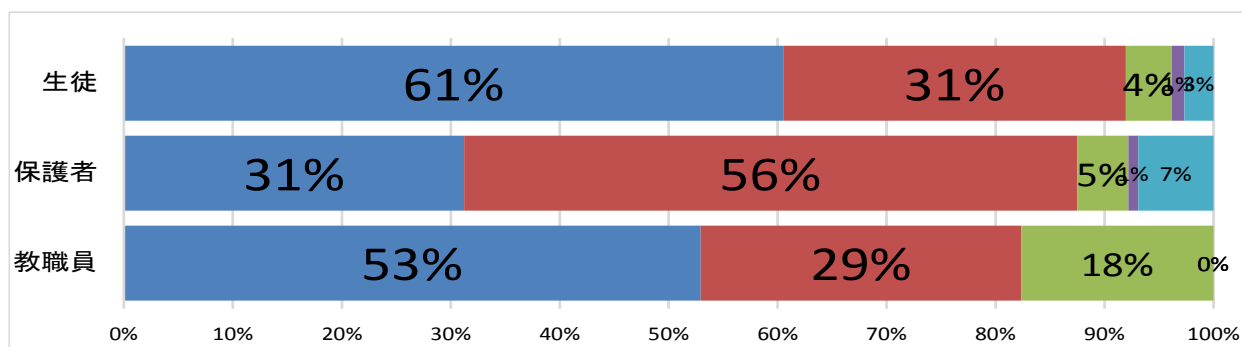
質問⑤

生徒 「体育大会や音楽会などの学校行事に、積極的に取り組んだ。」	保護者 「学校は、生徒たちが行事に積極的に取り組めるよう努めている。」	教職員 「生徒が、学校行事に積極的に取り組めるよう指導している。」
-------------------------------------	--	--------------------------------------



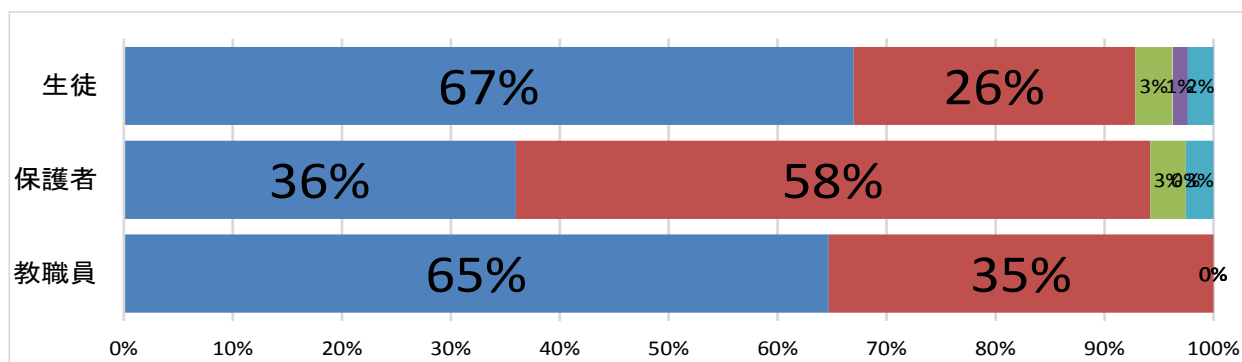
質問⑥

生徒 「仲間のために行動することは大切なことだ。」	保護者 「子どもは、仲間のために行動することの大切さを理解している。」	教職員 「生徒に、仲間のために行動することの大切さについて指導している。」
------------------------------	--	--



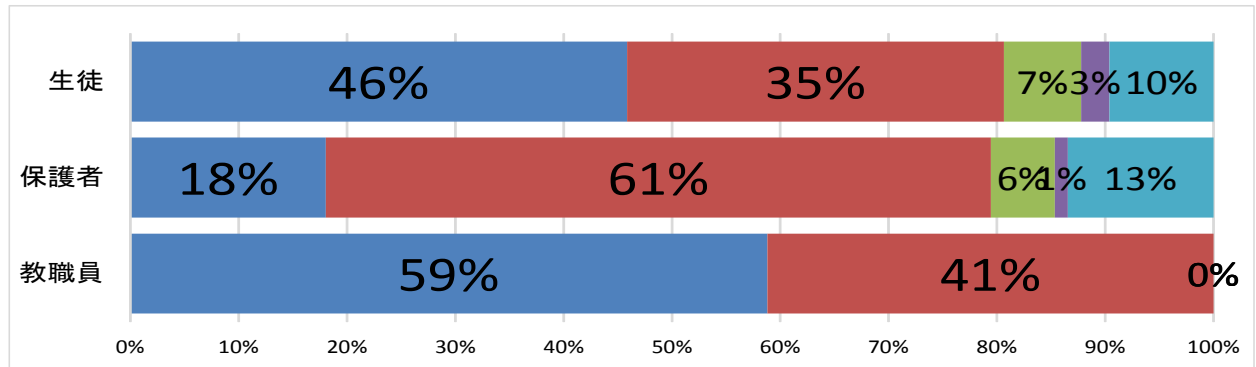
質問⑦

生徒 「周囲の仲間助けられたと感じたことがある。」	保護者 「子どもは、周囲の仲間助けられている。」	教職員 「生徒が、互いに助け合える関係になるよう指導している。」
------------------------------	-----------------------------	-------------------------------------



質問⑧

生徒 「周囲の仲間は自分のよいところを認めてくれている。」	保護者 「子どもは、周囲から認められている。」	教職員 「生徒が、互いの良さを認め合えるよう指導している。」
----------------------------------	----------------------------	-----------------------------------



アンケート結果の考察

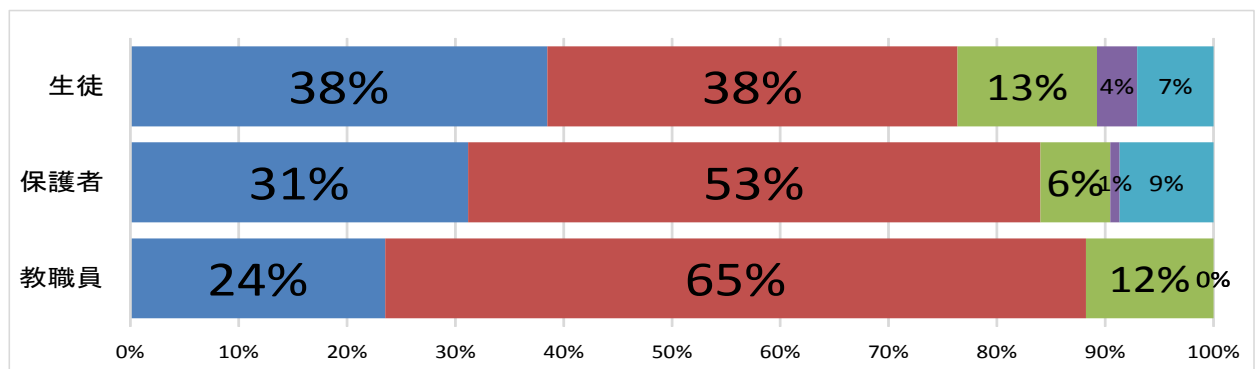
- 「集団の育成」についての質問に対する回答では、おおむね満足することができる結果となった。90 %を超える生徒が行事に積極的に取り組んでおり、仲間助け合いながら行動することの大切さを理解している。【質問⑤⑥⑦より】
- 20 %の生徒が「周りから認められていない」と感じている。【質問⑧より】

来年度以降の学校の取り組み

- * 更に多くの生徒が、周囲から認められているという意識をもてたり、協同意識を高めたりできるよう指導する。特に、今年度の「3年生を送る会」で行った、異学年による行事への取り組みを増やしていきたい。

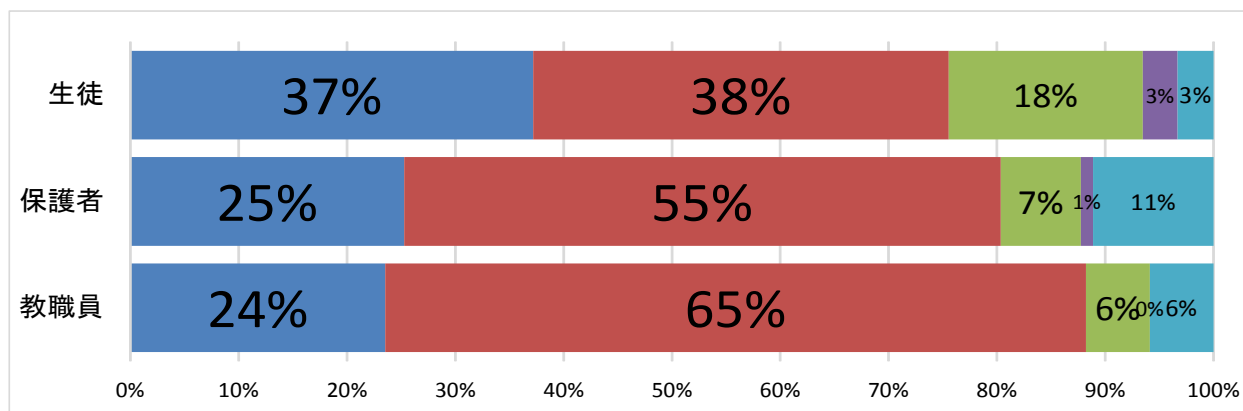
(3) 「個の育成」について
質問⑨

生徒 「自分にはよいところがあると思う。」	保護者 「学校は、子どものよいところを認めてくれている。」	教職員 「生徒が、自己肯定感をもてるよう指導している。」
--------------------------	----------------------------------	---------------------------------



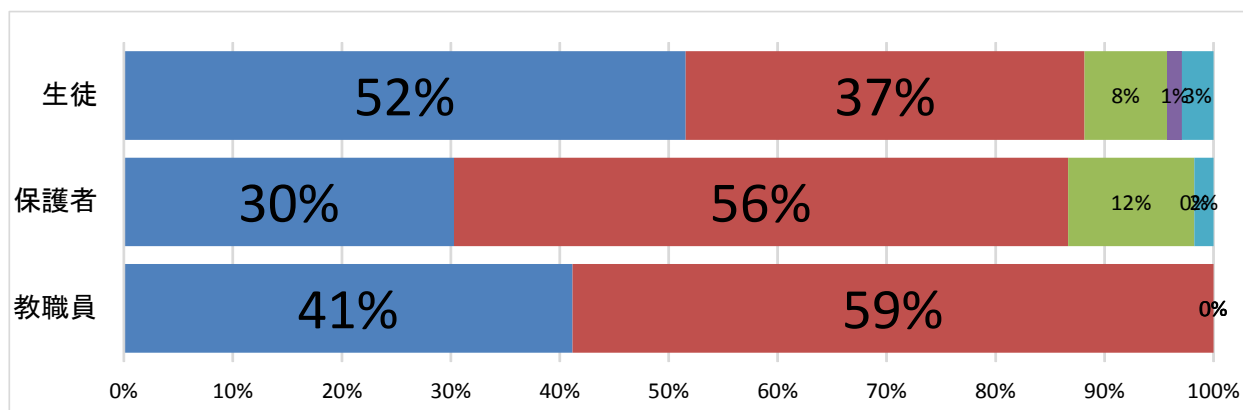
質問⑩

生徒 「自分の考えに自信をもって行動することができる。」	保護者 「学校は、子どもが自信をもって行動できるように努めている。」	教職員 「生徒が、自信をもって行動できるよう指導している。」
---------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------------



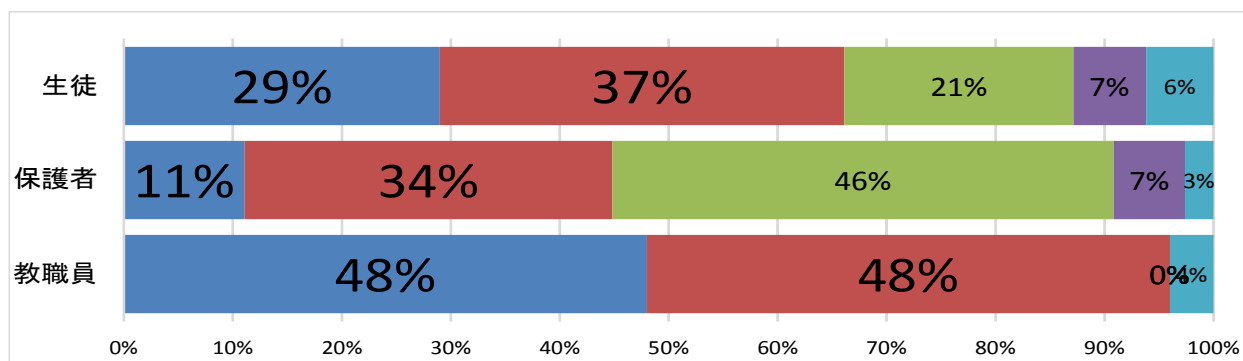
質問⑪

生徒 「学校のきまりを意識して行動している。」	保護者 「子どもは、学校の決まりを意識して行動している。」	教職員 「生徒が、学校の決まりを意識して行動できるよう指導している。」
----------------------------	----------------------------------	--



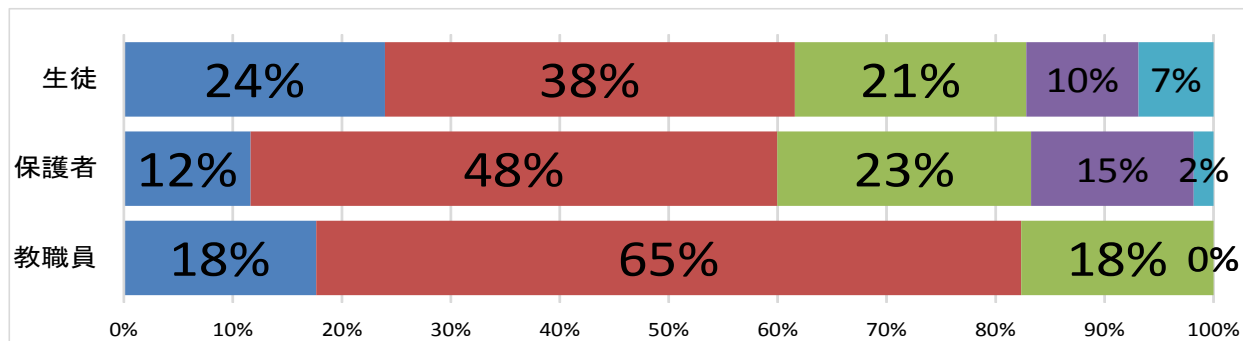
質問⑫

生徒 「毎日、自分で計画を立てて、勉強を進めている。」	保護者 「子どもは、自分で計画を立てて学習を進めている。」	教職員 「生徒が、計画的に学習に取り組むよう指導している。」
--------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------



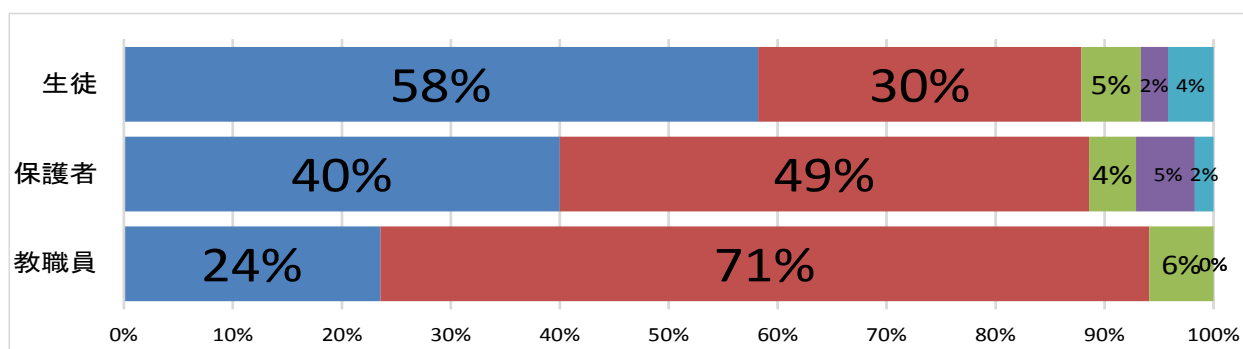
質問⑬

生徒 「自宅で、学校の予習復習をしている。」	保護者 「子どもは、自宅で学校の予習・復習をしている。」	教職員 「生徒が、自宅で授業の予習・復習に取り組むよう指導している。」
---------------------------	---------------------------------	--



質問⑭

生徒 「自宅で、学校の宿題をしている。」	保護者 「子どもは、自宅で学校の宿題をしている。」	教職員 「生徒が、自宅で宿題に取り組むよう指導している。」
-------------------------	------------------------------	----------------------------------



アンケート結果の考察

- 90 %近い生徒が、「学校のきまりを守る」ことや「学校の宿題をする」ことについて、高い意識をもって取り組んでいる。【質問⑪⑭より】
- 25 %前後の生徒が、自己肯定感をあまりもてずにいる。【質問⑨⑩より】
- 30 %を超える生徒が、自主的に行動することができていない。決められたことや、指示されたことをするだけでなく、自主的に課題を見付け、取り組もうとする姿勢を育てる必要がある。

来年度以降の学校の取り組み

- * 生徒が、自信をもって主体的に行動できるようにするために、次のような取り組みを行う。
 - ・ 各教科の授業で、主体的に学習に取り組めるような工夫を行う。
 - ・ 課題解決型の授業を多くするために、教職員同士の授業公開や意見交換を行う。
 - ・ 各行事で、生徒たちだけで運営できる場面を設定し、生徒たちの主体的に行動しようとする姿勢を育てる。